

資 料

富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2021年)

南部 久男¹⁾, 清水 海渡²⁾

¹⁾ 富山市科学博物館登録ボランティア 939-8084

富山市西中野町一丁目8-31

²⁾ 富山市科学博物館 939-8084 富山市西中野町一丁目8-31

**Records of Asiatic Black Bear
(*Ursus thibetanus*) in Toyama
City, Toyama Prefecture in 2021**

Hisao Nambu¹⁾ and Kaito Shimizu²⁾

¹⁾ Toyama Science Museum volunteer, 1-8-31

Nishinakano-machi, Toyama 939-8084, Japan

²⁾ Toyama Science Museum, 1-8-31 Nishinakano-machi,

Toyama 939-8084, Japan

1. はじめに

富山市におけるツキノワグマの各年の出沒状況は、本種の長期にわたる出沒動向を知るための基礎資料になると考えられることから、2005年以降筆者らは継続的に報告してきた(南部, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019; 南部・清水, 2021, 2022)。本稿では2021年の出沒状況を報告する。

2. 方法

富山市の2021年のツキノワグマの出沒情報は、富山市農地林務課からデータ提供を受けた。また、公開されている富山市のクマ出沒情報(富山市, 2023)や富山県(2022)の富山県ツキノワグマ出沒情報地図【クマつぶ】も参考にした。出沒データは2021年1~12月の出沒情報をまとめたものとし、付表1の項目等は南部(2007)に従った。採用した出沒データは、付表1の項目「判定」のAのデータを用いた。出沒場所の項目(付表1の「ページ」と「メッシュ」)は、環境庁(1997)のメッシュを用いた。出沒ゾーン(付表1の「エリア」)の区分は、富山市(2023)によった。

3. 結果及び考察

3.1. 2021年の富山市のツキノワグマの出沒状況

2021年の富山市のツキノワグマの出沒は、1~3月は

0件、4~12月は89件あった(表1)。地域別出沒件数は、八尾と大沢野の両地域が20件を越し、それぞれ27件と22件で、大山と細入の両地域は10件を越し、それぞれ18件と14件、山田、婦中、富山の3地域は5件以下であった(表1)。

ツキノワグマの出沒があった時期は、富山市全体で4月6日~12月20日であった(付表1)。季節的な出沒件数の内訳は、春・夏(4~8月)49件、秋(9~12月)40件であった。

春・夏(4~8月)のツキノワグマの出沒件数は、八尾、大沢野、大山の各地域が10~15件で、細入、山田、婦中、富山の4地域は5件以下であった。山麓から離れた平地での出沒(痕跡)は八尾地域で3件あった(付表1のNo.28, 29, 41)。大沢野地域北部の国道41号線の東側の河岸段丘崖付近では2件の出沒があった(付表1のNo.3, 34)。

秋(9~12月)のツキノワグマの出沒件数は、八尾と大沢野の両地域がそれぞれ14件と10件で、細入と大山の両地域はそれぞれ9件と6件、山田地域は1件、婦中と富山の両地域は0件であった。大沢野地域北部の国道41号線の東側の河岸段丘崖付近では6件の出沒があった(付表1のNo.56, 78, 81, 85, 86, 91)。

人身被害は、大沢野地域で7月に1件(男性1名軽傷)起きた(表1, 付表1)。

各出沒記録の詳細は、付表1としてSupplementary data (<http://10.6084/m9.figshare.22280911>)に示す。

3.2. 富山市の過去のツキノワグマの出沒状況との比較

2021年の富山市のツキノワグマの出沒状況を2004~2020年のそれと比較する。2004年の秋(9~12月)の出沒件数は、富山クマ緊急調査グループ・日本クマネットワーク(JBN)(2005)を引用した。2005~2020年の出沒件数は、「はじめに」で述べた既報を引用した。

富山市の2005~2021年の春・夏(4~8月)のツキノワグマの出沒件数は、最小が11件(2006年)で最大が66件(2020年)であった。10~30件の出沒があった年は、2005, 2009, 2010~2013, 2015, 2016, 2018年の9年で、40~50件未満の年は、2007, 2014, 2017, 2019年の4年、50件台は2006年と2008年の2年、60件台は2020年の1年であった。2021年の4~8月の出沒件数は49件で、2004年以降で比較的出沒が多い年であったと思われる。なお、富山県の2021年春・夏(4~8月)の出沒件数は127件であった(富山県自然保護課, 2023)。

富山市の2004~2021年の秋(9~12月)のツキノワグマの出沒件数は、最小が2件(2005年)で最大が451件(2019年)であった。出沒が40件以下(11~35件)の年

表1 富山市のクマの月別、地域別件数（2021年1月～12月）

月	月別		地域別件数(人身被害含む)							人身被害件数 () は負傷者数
	月別	月別詳細	富山	大沢野	大山	八尾	婦中	山田	細入	大沢野
1月	0	0								
2月	0	0								
3月	0	0								
4月	5	5		2	3					
5月	12	12		5	5	1	1			
6月	17	17		2		8	1	4	2	
7月	11	11	1	2	3	3			2	1(1)
8月	4	4		1	1	1			1	
9月上旬	7	2		1				1		
9月中旬		3				3				
9月下旬		2			1	1				
10月上旬	8	6			3	1			2	
10月中旬		0								
10月下旬		2			1		1			
11月上旬	22	7			1	6				
11月中旬		7			1	1	2		3	
11月下旬		8			4		1		3	
12月上旬	3	2		1					1	
12月中旬		1		1						
12月下旬		0								
小計(4～8月)	49	49	1	12	12	13	2	4	5	1 (1)
小計(9～12月)	40	40	0	10	6	14	0	1	9	0
合計(4～12月)	89	89	1	22	18	27	2	5	14	1 (1)

(注1) 件数は、同一地点で目撃と痕跡があった場合は1件とした。

(注2) 地域別件数には人身被害を含む。

(注3) 人身被害は付表1と富山県(2023)を参照した。

(注4) 地域別件数と人身被害件数の空欄は0を示す。

は2005、2007～2009、2011～2013、2015～2018年の11年であった。100～110件の出沒があった年は2016年と2020年の2年であった。出沒が300～500件があった年は、2004年、2006年、2010年、2019年の4年であり、これらの年の秋は富山県で大量出沒が起き、全県で700～1200件あまりのツキノワグマの出沒があったことが知られている(間宮・赤座、2017；富山県自然保護課、2023；富山クマ緊急調査グループ・日本クマネットワーク(JBN)、2005)。2021年秋の富山市の出沒件数は40件で、2004年以降では比較的出沒件数が少ない年であったと思われる。なお、富山県の2021年秋(9～12月)の出沒件数は74件であっ

た(富山県自然保護課、2023)。

3.3. 2021年秋の富山県のツキノワグマの出沒状況

富山県(2021)によれば、県内の2021年秋の堅果類の豊凶調査結果は、ブナ(15箇所)は全県で並作(不作から豊作までばらつく)、ミズナラ(16箇所)は全県で不作(凶作から並作までばらつく)、コナラ(10箇所)は全県で不作(凶作から並作までばらつく)とされ、秋は平野部へ大量出沒する可能性は低いとされたが、ミズナラとコナラは凶作地点もあることから、山麓の集落周辺を中心にクマに警戒が必要とされた。富山市内の堅果類の調

査地点では、ブナは有峰（3箇所）は不作、大長谷は並作、ミズナラは、有峰は1箇所で作、3箇所で作、大長谷、桧峠、牛岳はいずれも不作、コナラは猿倉で不作とされた。2021年の富山県内の人身被害は今回報告した富山市大沢野地域で起きた7月の1件1名（軽傷）であった（付表1、富山県2023）。前述の2021年秋の富山市のツキノワグマの出没状況は秋の堅果類の豊凶結果を反映していると考えられる。

4. 謝辞

ツキノワグマの出没情報を提供いただいた富山市農地林務課、並びに、ツキノワグマの出没状況をご教示いただいた白石俊明氏（富山県立山カルデラ砂防博物館）に感謝申し上げる。

5. 引用文献

環境庁, 1997. 都道府県別メッシュマップ 16富山県, 63 p.+IX. 自然環境研究センター.

間宮寿頼・赤座久明, 2017. 富山県におけるツキノワグマの出没状況と人身被害について (2004~2016年). 富山県自然博物館ねいの里研究報告, (1): 1-7. <http://www.toyamap.or.jp/shizen/tyouzyuugai/2017bear.toyama.pdf>. 2023年2月6日閲覧.

南部久男, 2007. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2005・2006年). 富山市科学文化センター研究報告, (30): 109-126.

南部久男, 2008. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2007年). 富山市科学博物館研究報告, (31): 109-126.

南部久男, 2009. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2008年). 富山市科学博物館研究報告, (32): 161-169.

南部久男, 2010. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2009年). 富山市科学博物館研究報告, (33): 147-153.

南部久男, 2011. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2010年). 富山市科学博物館研究報告, (34): 177-191.

南部久男, 2012. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2011年). 富山市科学博物館研究報告, (36): 129-135.

南部久男, 2013. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2012年). 富山市科学博物館研究報告, (37): 163-169.

南部久男, 2014. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2013年). 富山市科学博物館研究報告, (38):

165-171.

南部久男, 2015. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2014年). 富山市科学博物館研究報告, (39): 141-15.

南部久男, 2016. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2015年). 富山市科学博物館研究報告, (40): 135-141.

南部久男, 2017. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2016年). 富山市科学博物館研究報告, (41): 113-120.

南部久男, 2018. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2017年). 富山市科学博物館研究報告, (42): 103-110.

南部久男, 2019. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2018年). 富山市科学博物館研究報告, (43): 101-108.

南部久男・清水海渡, 2021. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2019年). 富山市科学博物館研究報告, (45): 107-109.

南部久男・清水海渡, 2022. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2020年). 富山市科学博物館研究報告, (46): 109-111.

富山県, 2021. 令和3年 堅果類 (ドングリ) の豊凶調査結果について. https://www.pref.toyama.jp/documents/21689/r3houkyou_20210907hp.pdf. 2021年1月2日閲覧.

富山県, 2022. 富山県ツキノワグマ出沒情報地図【クマっぶ】 (公開 2022年12月9日). <https://www.pref.toyama.jp/1709/kurashi/kankyoushizen/shizen/yaseiseibutsu/kumap.html>. 2023年2月6日閲覧.

富山県, 2023. 令和3年ツキノワグマによる人身被害の状況 (令和3年7月13日現在). https://www.pref.toyama.jp/documents/16042/r3_kuma_higai_0713.pdf. 2023年2月10日閲覧.

富山県自然保護課, 2023. ツキノワグマ目撃・痕跡情報経年推移 (令和4年1月4日). https://www.pref.toyama.jp/documents/8142/kuma_h16-r03.pdf. 2023年2月4日閲覧.

富山クマ緊急調査グループ・日本クマネットワーク (JBN) (編), 2005. 富山県における2004年のツキノワグマの出没状況調査報告書, 112p. + CD-ROM. 富山クマ緊急調査グループ.

富山市, 2023. クマ出沒情報 (令和3年). https://www.city.toyama.toyama.jp/norinsuisanbu/shinrinseisakuka/kuma/kumashutsuotsujoho02_1.html. 2023年2月6日閲覧.